

# HINO

## REPORT

2019年4月1日から2019年9月30日まで



### 目次

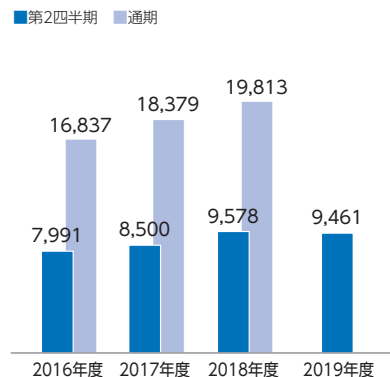
- 1 … 業績の総括
- 2 … ごあいさつ
- 3 … 株主ひろば
- 4 … 2025年に向けて
- 5 … ニュース&トピックス
- 7 … 連結財務データ
- 9 … 会社概要/株式の状況
- 10… 株主メモ

**日野自動車株式会社**

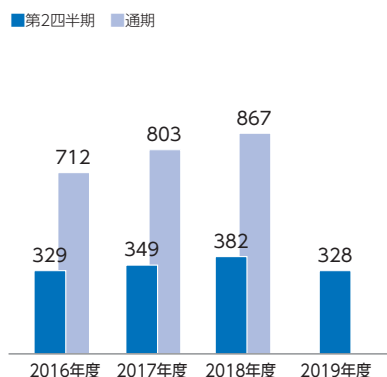
証券コード 7205

業績のハイライト (単位: 億円)

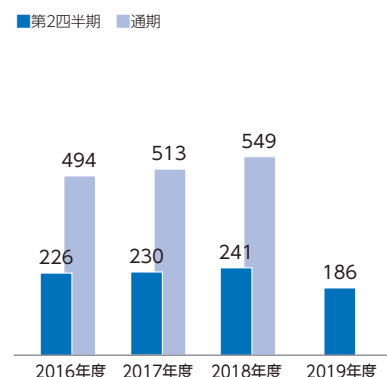
売上高



営業利益

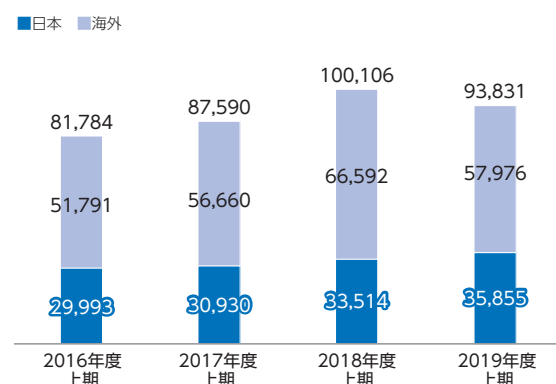


親会社株主に帰属する  
当期純利益



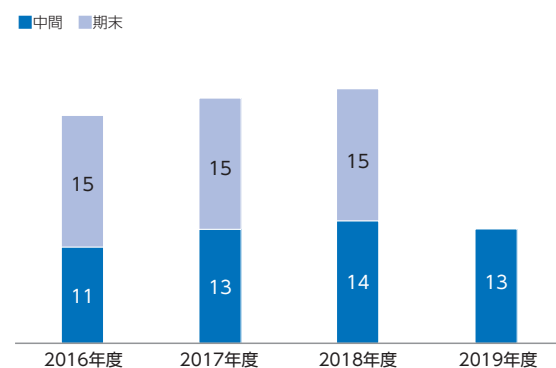
グローバル販売台数

販売台数(上期) (単位: 台)



株主還元

普通株式1株当たり配当金 (単位: 円)



(注) 現時点では不透明な経営環境が予想されるため、2020年3月期末および年間の配当予想額は未定です。

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社の事業活動にご理解、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。

当上期は、日本では堅調な販売となり、上期として過去最高の台数を記録しました。

一方、海外市場ではインドネシアを中心に需要の減速が広がり、海外向け販売が低下していることを受け、グローバル販売は前年に比べてマイナスとなりました。以上の結果、当上期の連結売上高は、9,461億円、営業利益は328億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は186億円の減収減益となりました。

通期の見通しについては、日本は堅調が継続するものの、海外での厳しい市場環境を踏まえ、販売台数、業績ともに下方修正いたします。引き続き、販売のさらなる積み上げに注力するとともに、トータルサポートの取り組みをさらに加速し、市場環境に左右されない収益構造への転換を進めてまいります。また、株主さまへの中間配当については、前回予想を修正し、1株につき13円の配当を実施します。年間配当金額は、足元の業績および取り巻く環境などを勘案し、現段階では未定とさせていただきます。

日野は、Challenge2025の実現に向けて、昨年から進めております様々な取り組みをさらに加速し、着実な成長につなげてまいります。今後も変化を先取りし、スピード感をもってチャレンジしてまいります。

株主の皆さまには、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
最高経営責任者 下 義生

昨年「HINO REPORT」でご案内したアンケートには、多くの株主の皆さまからご回答をいただきました。皆さまのご協力に感謝を申し上げますとともに、いただいた貴重なご意見を今後のIR活動やHINO REPORTの企画に反映してまいります。今回は前回アンケートと第107回定時株主総会で株主の皆さまよりいただいたご質問にお答えいたします。

**「Challenge2025\*」の位置付けと、2025年を目標とした理由を教えてください。**

私たちの取り組み

2025年に向けた中長期の方向性と取り組み、経営目標を示したものです。「規模」を優先して追うのではなく、く自由に安全に効率的に、人と物が移動する、より「豊かで住みよい持続可能な社会」に向けて、お客様の課題解決を通じて社会に貢献し、お客様と社会に必要とされる存在として、持続的成長の実現を目指します。100年に一度の大変革期と言われるこの時代変化を踏まえ、2025年頃までに日野の事業構造を変えていく必要があると考え、設定しました。

注釈 \*2018年10月30日公表

**海外事業戦略や目標について教えてください。**

私たちの取り組み

当社は日本・ASEAN・米州を地域の「三本柱」とし、特に広く深くお客様から支持されている「基盤」と位置付けています。中でもASEAN各国は今後も高い経済成長が期待でき、お客様のビジネスを支え、経済発展に貢献し、持続的に成長すると考えており、あわせて、第3の柱としての米州についても更に強化していく考えです。「最適商品」をタイムリーに提供するため、早い開発と供給リードタイム短縮に向けて各地で取り組みを進め、競争力強化を図ります。海外諸地域でバランスよく成長し、2025年にはグローバルで年間30万台の新車販売を目指しています。

**交通死亡事故ゼロを目指すための取り組みを教えてください。**

私たちの取り組み

トラックはひとたび事故が起こると被害が大きくなりやすく、バスは多くの人命を預かって走っています。「安全」は商用車メーカーの社会的な責務として最優先に取り組む課題であると認識しており、「車両」の安全性向上に向けた技術開発と、運転講習などによる「人」へのサポートの両輪で取り組んでいます。普及させることも非常に重要であり、開発した技術の標準装備化を進めることは当然のこと、既販車への対応として後付可能な安全装置の拡充にも積極的に取り組んでいきます。

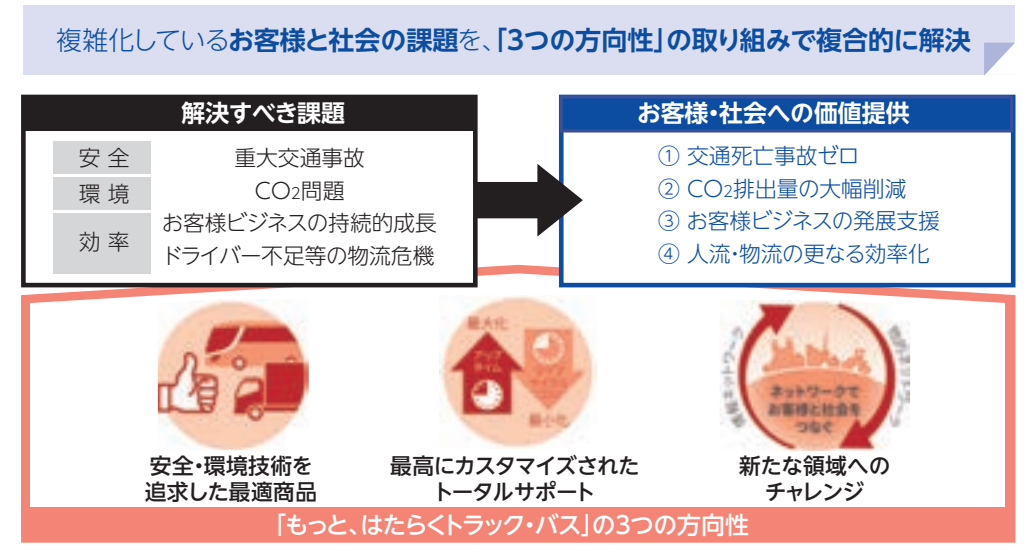
**「Challenge2025」  
3つの方向性にもとづき推進**

日野は、「豊かで住みよい持続可能な社会」の実現に向けて、お客様や社会とともに、様々な社会課題の解決に取り組んでおります。

昨年10月に、2025年に向けた当社の取り組みを発表いたしました。現在、日野グループ内で「Challenge2025」として進めております。

100年に一度と言われる大変革期を迎えている中、日野は、『もっと、はたらくトラック・バス』のスローガン下、「安全・環境技術を追求した最適商品」「最高にカスタマイズされたトータルサポート」「新たな領域へのチャレンジ」これら3つの方向性の取り組みで、お客様と社会に価値提供を行ってまいります。

**解決すべき課題と日野の価値提供**



5月 小型トラック「日野デュトロ」を改良して新発売

小型トラック「日野デュトロ」を改良し、「平成28年排出ガス規制」に対応するとともに、安全装備を大幅に拡充して5月7日に発売しました。今回の改良では、排出ガスのクリーン化に加えて、前進誤発進抑制機能をはじめとする安全装備を標準装備し、様々なシーンで衝突回避を支援する機能を追加しています。また、ICTサービス「HINO CONNECT」導入によるコネクティッドの推進等、あらゆる面からドライバーをサポートします。



5月

6月 大型ハイブリッドトラック「日野プロフィア ハイブリッド」を新発売

大型トラックに画期的なハイブリッドシステムを搭載し低燃費を実現した「日野プロフィアハイブリッド」を6月18日に発売しました。

大型トラックは燃料消費量が多くその削減が大きな課題ですが、高速道路での定速走行が中心で発進・停止の頻度が少ないことから、ハイブリッドには不向きとされていました。日野は、その質量の大きさをゆえに下り坂での運動エネルギーが非常に大きいことに着目。標高・勾配・位置情報などをもとにルート上の勾配を先読みし、AIが走行負荷を予測し最適なハイブリッド制御を行うという、世界初の技術を採用した新ハイブリッドシステムを開発しました。



6月

8月 米国ウェストバージニア新工場で開所式を実施

米国日野販売と米国日野製造は、8月21日にウェストバージニア州ミネラルウェルズにて、新工場の開所式を実施しました。商品供給リードタイムを短縮するとともに、将来の販売増に向けた体制を整え、競争力強化を図ります。



8月

10月 「MOBILOTS」(モビロッツ) 10月1日より営業開始

トヨタファイナンス(株)、住友三井オートサービス(株)、当社の共同出資によるMOBILOTS(株)は、10月1日から営業を開始しました。

MOBILOTSは、ファイナンス(リース・割賦)の提供に加え、車両管理や車両整備を含むメンテナンスリース等のサービスの提供により、お客様の安心・安全な車両の稼働をサポートします。また、One to Oneの最適なメニュー提供で、お客様の「コストの最小化」につながるサービス提供を目指します。



9月 日野フィリピン、お客様の稼働を支援する新たなトータルサポート拠点の開所式を実施

フィリピンにおける販売製造子会社の日野フィリピンは、9月5日に「テクニカルサポートアンドトレーニングセンター」の開所式を実施しました。新拠点では、ハード・ソフトの両面からトータルサポートを強化してまいります。



9月

日野とTRATON、調達ジョイントベンチャーを設立

日野とTRATON SEは「お客様に最高の価値を持続的に提供していくための戦略的協力関係」にもとづく調達ジョイントベンチャー「HINO&TRATON Global Procurement GmbH」をこの10月に設立しました。

グローバル調達におけるシナジー効果の最大化を目的とした同ジョイントベンチャーは、両社が購入する幅広い部品・技術の調達活動を行い、この協業を通して日野、TRATONはそれぞれ欧州、アジアをはじめグローバルな調達の領域を広げ、部品調達基盤の強化を図ります。

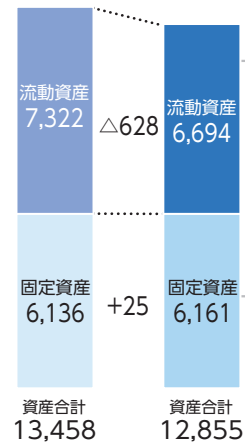


10月

## 連結貸借対照表

2018年度末  
2019年3月31日現在

(単位：億円)

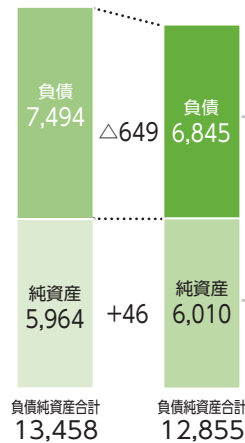


● **流動資産** △628億円  
売掛債権が395億円減少したこと、およびたな卸資産が147億円減少したこと等によるものです。

● **固定資産** +25億円  
有形固定資産が29億円減少した一方で、投資その他の資産が53億円増加したこと等によるものです。なお、生産設備を中心とした設備投資を229億円行っております。

2018年度末  
2019年3月31日現在

(単位：億円)



● **負債** △649億円  
買掛債務が235億円減少したことに加え、有利子負債が228億円減少したこと等によるものです。

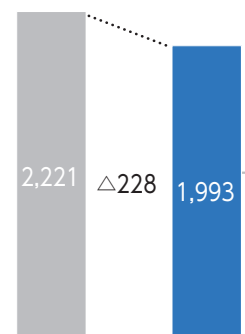
● **純資産** +46億円  
純利益を186億円計上した一方で、剰余金の配当を86億円行ったこと、および非支配株主持分が36億円減少したこと等によりです。

## 有利子負債

(単位：億円)

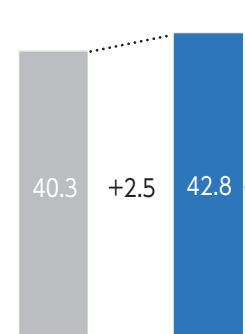
有利子負債とは、短期借入金、長期借入金を合計した金額です。

2018年度末  
2019年度第2四半期末



● **有利子負債** △228億円  
売掛債権の回収が進んだことに加え、在庫圧縮による棚卸資産の減少等により有利子負債が減少しました。

2018年度末  
2019年度第2四半期末

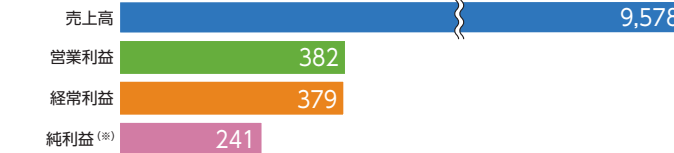


● **自己資本比率** +2.5P  
前期末に比べ2.5P上昇の42.8%となりました。

## 連結損益計算書

(単位：億円)

2018年度第2四半期  
2018年4月1日から2018年9月30日まで

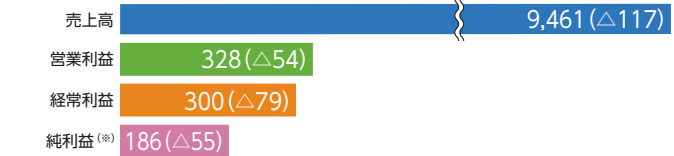


● **売上高** △117億円(△1.2%)  
日本は引き続き堅調も、海外向け販売台数減少の影響が大きく減収となりました。

● **営業利益** △54億円(△14.1%)  
海外向け販売台数減、および為替悪化等の影響により減益となりました。

● **純利益** △55億円(△23.0%)  
営業利益の減少等により減益となりました。

2019年度第2四半期  
2019年4月1日から2019年9月30日まで

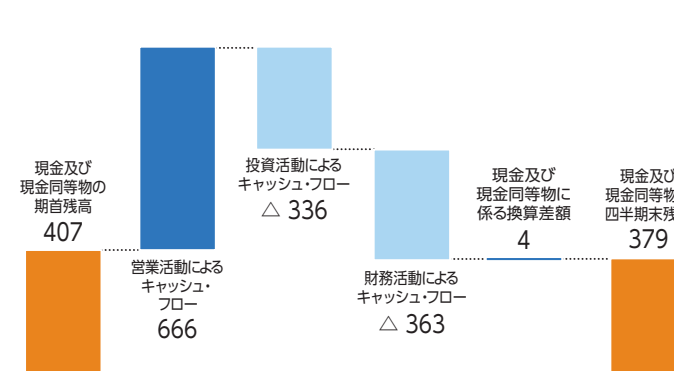


※親会社株主に帰属する当期純利益

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

2019年度第2四半期  
2019年4月1日から2019年9月30日まで



● **営業活動によるキャッシュ・フロー** +666億円  
税金等調整前四半期純利益を298億円計上したことに加え、売掛債権の回収が進み372億円を計上したこと等により増加しました。

● **投資活動によるキャッシュ・フロー** △336億円  
生産設備を中心とした有形固定資産の取得による支出が291億円あったこと等により減少しました。

● **財務活動によるキャッシュ・フロー** △363億円  
有利子負債の返済が進んだことに加え、配当金の支払を行ったこと等により減少となりました。

会社概要	
日野自動車株式会社 HINO MOTORS, LTD.	
創 業	1910年(明治43年)
設 立	1942年(昭和17年)5月1日
資 本 金	72,717,284,641円
従 業 員 数	連結：34,612名 単独：12,955名
主要な事業所 および工場	本社・日野工場 東京都日野市日野台3丁目1番地1 〒191-8660 電話 (042) 586-5111 羽村工場 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目1番地1 〒205-8660 電話 (042) 579-0411 新田工場 群馬県太田市新田早川町10番地1 〒370-0344 電話 (0276) 56-5111 古河工場 茨城県古河市名崎1番地 〒306-0110 電話 (0280) 67-3500 茨城テストコース 茨城県常陸大宮市長倉2023番地 〒311-4613 電話 (0295) 55-3122 北海道芽室テストコース 北海道河西部芽室町雄馬別14線26番地1 〒082-0382 電話 (0155) 66-2511 日高配車センター 埼玉県日高市上鹿山689番地1 〒350-1234 電話 (042) 985-9110 日野グローバルパーツセンター 東京都青梅市末広町2丁目9番1号 〒198-0025 電話 (0428) 27-0207
ウェブサイト	<a href="https://www.hino.co.jp/">https://www.hino.co.jp/</a>

### 取締役・監査役

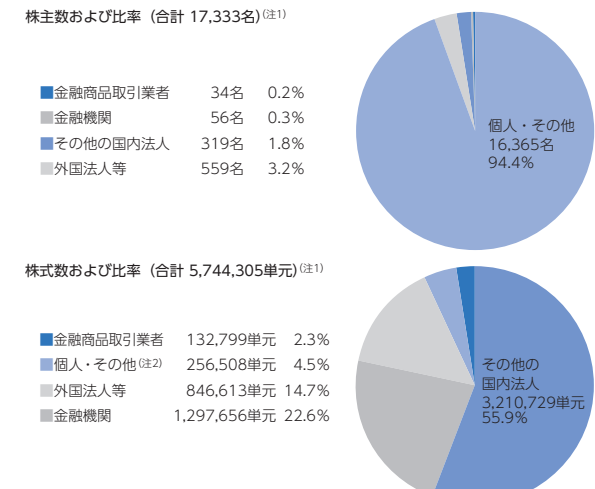
代表取締役会長	市橋 保彦	取締役	萩原 敏孝 <sup>*1</sup>
代表取締役社長 最高経営責任者	下 義生	取締役	吉田 元一 <sup>*1</sup>
取締役・副社長	毛利 悟	取締役	寺師 茂樹
取締役・副社長	牟田 弘文	常勤監査役	前田 義秀
取締役・副社長	遠藤 真	常勤監査役	井上 智子
取締役・専務役員	中根 健人	監査役	北村 敬子 <sup>*2</sup>
取締役・専務役員	佐藤 真一	監査役	中島 正博 <sup>*2</sup>

<sup>\*1</sup> 社外取締役 <sup>\*2</sup> 社外監査役

株主の状況		
発行済株式総数	574,580,850株	
株 主 数	18,580名(前期末比1名増)	
大 株 主		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トヨタ自動車株式会社	287,897	50.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	46,847	8.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,892	4.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	14,263	2.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	5,007	0.87
東京海上日動火災保険株式会社	4,884	0.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	4,871	0.85
ジェーピー モルガン チェース バンク 385151	4,337	0.76
日清紡ホールディングス株式会社	4,209	0.73
BNPパリバ証券株式会社	4,200	0.73

(注) 持株比率は自己株式(422千株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式の分布状況



(注)  
 1. 上記株主数、株式数には、単元未満株主1,247名、単元未満株式150,350株は含まれておりません。  
 2. 「個人・その他」には、自己株式が4,220単元含まれております。また、1.の単元未満株式には自己株式が65株含まれております。

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 確 定 日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株式に関する手数料	単元未満株式買取手数料 無料
公 告 方 法	以下の当社ウェブサイトにて電子公告により行います。 <a href="https://www.hino.co.jp/j/corporate/ir/koukoku/index.html">https://www.hino.co.jp/j/corporate/ir/koukoku/index.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京、名古屋各証券取引所
証 券 コ ー ド	7205
1 単 元 の 株 式 数	100株

#### ◇特別口座の留意事項

- ・特別口座に記録された株式を売却するには、株主様が証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行う必要があります。  
※単元未満株式の買取請求は特別口座のままでも可能です。当社の買取手数料は無料ですので、是非ご活用ください。
- ・特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

#### 【(ご案内) 少額投資非課税制度口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて】

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である株式数比例配分方式をお選びいただく必要があります。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

#### 【株式に関するお手続きの窓口について】

##### ◇特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○特別口座から証券会社等の口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 (受付時間：土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	[手続書類のご請求方法] 上記電話およびインターネットにより承っております。 インターネットによるダウンロード <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

##### ◇証券会社等の口座に記録された株式

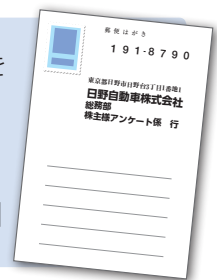
お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎0120-232-711 (受付時間：土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

株主の  
皆さまへの  
お知らせ

株主の皆さまのご意見を今後の経営及びIR活動に役立てていくため、アンケートを実施いたします。

皆さまから寄せられたご意見、質問等に関しましては「HINO REPORT 第108期報告書」にて回答いたします。

詳細は同封のアンケート用紙をご覧ください。 **締切日** → **2019年12月31日**



## 日野自動車株式会社

〒191-8660

東京都日野市日野台3丁目1番地1

電話 (042) 586-5111 (代表)

<https://www.hino.co.jp/>

ユニバーサルデザイン (UD) の考え方にに基づき、  
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した  
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

